



あさひむら

議会だより

▲ピカピカのバスに、大きな買い物袋を持って乗り込むみなさん！出発を待つ間に世間話の花が咲く

近くて遠かったザ・ビッグ山形店 「朝日買い物バス」 試行運転はじまる

8月4日から「ザ・ビッグ山形店」までの村営買い物バスの試行運転が始まった。火曜日は古見・小野沢ルート、木曜日は針尾・西洗馬ルート上に停留所もできて、週2回の運行だ。「一人でもこられるようになって嬉しいわや〜」の声々！交通手段を持たないお年寄りにとって、近くて遠かったビッグが少し近くなったかな？平均乗車人数は8名程度とまだ少ないが、便利さの口コミや雪道の運転回避により、利用者の増加が見込まれる。「まずは一度乗ってみましょや！」

もくじ

- ・ 9月定例会 令和元年度決算状況・令和2年度補正予算……………2
- ・ 議員発議、令和元年度決算認定……………3
- ・ 臨時会 観光レクリエーション施設等指定管理他……………4
- ・ 一般質問 村政を問う……………5～9
- ・ 議員活動報告/議員活動日誌……………10～11
- ・ 村民の声・ちょこっと訪問・編集後記……………裏表紙

●「議会だより」第38号

発行日/2020年10月31日
発行/朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555-1
TEL. 0263-99-2001(代)
FAX. 0263-99-2745
Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷/川越印刷株式会社

**一 般
会 計**

歳入決算額 **30億7,045万円** (前年37億 132万円 △17.0%)
 歳出決算額 **29億1,874万円** (前年35億3,094万円 △17.3%)
 実質収支 **1億2,430万円** (前年 1億1,818万円 5.2%)

令和元年度村のお金の使い道! (一般会計目的別決算概要)

<p>議会費 4,846万円</p> <p>議員報酬、議会運営費 議会だより他</p> 	<p>総務費 4億1,948万円</p> <p>行政システム関係、庁舎等施設 管理、地域公共交通対策、選挙 他</p>	<p>民生費 6億4,847万円</p> <p>障がい者支援、老人福祉、社会 福祉協議会補助、子育て支援、 保育所運営他</p>	
<p>衛生費 1億5,260万円</p> <p>健診事業、母子保健、感染症対 策、ごみ処理、簡易水道事業会 計補助他</p>	<p>農林水産業費 1億4,928万円</p> <p>有害鳥獣対策、農地保全等、地 方創生事業(アグリ、木質資源) 土地改良、林業、松くい虫対策他</p>	<p>商工費 1億3,320万円</p> <p>商工振興、プレミアム商品券、ゲス トハウス整備事業、スキー場特別 会計繰出他</p>	
<p>土木費 3億7,236万円</p> <p>向陽台道路整備、村道維持補修、 道路照明 LED 交換、除雪融雪 作業、下水道事業会計補助</p>	<p>消防費 1億4,095万円</p> <p>広域消防負担金、消防団運営、 防火水槽整備、新型コロナウイ ルス感染症対策他</p>	<p>教育費 3億328万円</p> <p>小学校空調設備整備、小中学校、 公民館、お夏まつり、図書館、 美術館、文化財保護他</p>	
<p>公債費 1億9,934万円</p> <p>地方債(借入金)の 元利償還金</p>	<p>諸支出金 3億3,713万円</p> <p>財政調整基金等 7種基金積立</p>	<p>労働費 1,105万円</p> <p>勤労者福祉資金融資 制度</p>	<p>災害復旧費 314万円</p> <p>林道施設、農業用施 設</p>

令和2年度

補正予算 新型コロナ対策地方創生臨時交付金を活用したコロナ感染症対策事業
 ・テレワークシステム構築事業・林道災害復旧事業他

1億4,520万円の大型補正! 令和2年度一般会計総額41億2,620万円に

【主な補正内容】

- **テレワークシステム構築事業 3,569万円**
ネットワーク環境構築・テレワーク設備調達等
- **会議室音響映像配信システム等整備事業 1,020万円**
庁舎内リモート会議体制の構築、会議録作成システム導
入による事務の効率化、情報公開の迅速化
- **朝日村基本図デジタル化事業 1,050万円**
基本図のデジタル化によりネット上でデータ閲覧等、関
係機関とのデジタル情報の共有
- **行政情報メールアプリ配信事業 450万円**
情報提供手段の多重化・迅速化
- **朝日村小企業振興資金預託金 1,000万円**
コロナウイルス対策特別資金の預託金
- **村内事業所感染症対策環境整備補助金 900万円**
商工業者がコロナ禍における事業継続のための必需
品購入、感染症対策のための整備費用の一部補助
- **小学校新型コロナ対応施設改修事業 2,900万円**
感染防止、安全安心空間の確保を図るべく施設改修
(手洗い水栓増設、プレイルーム建具設置等)
- **松くい虫防除対策事業 462万円**
松くい虫の伐倒燻蒸処理の対象木の増による処理委
託料の追加費用(当初37本→見込87本)※森林環境
譲与税対象事業
- **林道災害復旧事業 317万円**
7月豪雨林道災害(鉢盛山線)林道復旧費用

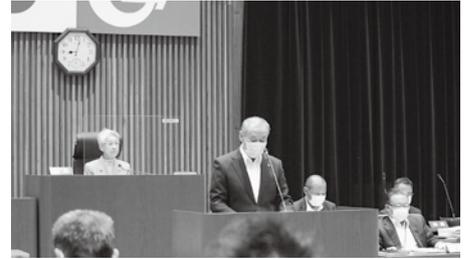
9月 定例会

令和元年度決算認定 歳入・歳出とも前年度対比約17%減！ 実質収支は1億2,430万円(前年比5.2%増)の黒字決算

コロナ禍で各種イベントが中止、縮小開催されるなど、感染症防止が叫ばれるなか、令和2年朝日村9月定例会は9月3日(木)に招集された。開会に先立ち開催された議会運営委員会ではコロナ禍の行政運営に考慮して、会期の短縮、一般質問時間の

短縮が協議され、会期を9日間、一般質問時間を15分短縮しての開催となった。10日(木)には9議員が12項目の一般質問を行い、11日(金)最終日には、慎重審議を重ね、村提出の全案件を原案どおり可決し閉会した。

- ・承認 1 件 (一般会計専決処分)
- ・条例 11 件 (旅費・費用弁償・商工業・教育委員会関連)
- ・工事請負契約 1 件 (松ノ木橋橋梁修繕工事)
- ・補正予算 4 件 (令和2年度一般会計及び特別会計、企業会計)
- ・決算認定 7 件 (令和元年度一般会計及び特別会計、企業会計)
- ・報告 1 件 (健全化判断比率及び公営企業会計に係る資金不足比率)
- ・発議 1 件 (新型コロナウイルス感染症に伴う地方税財源確保を求める意見書)



村長提案説明

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書を提出！

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いています。地方自治体においては、地方税・地方交付税の大幅な減少等が避けがたくっており、このような状況下において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供し続けること、また、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつて

ない厳しい状況になることが予想されます。このことから議会最終日、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を求めるため、「地方税財源の確保を求める意見書」を発議し、議員全員の賛成により採択しました。その結果9月11日衆参両院、関係行政庁へ意見書を提出しました。

高橋良二

令和元年度決算認定議会 総論

議長 塩原智恵美

9月議会は決算議会と一般的に言われる。村が実施した前年度主要事業に対し、当初の狙い通りの効果があったか否かを審議する大事な議会である。

昨年は年号が平成から令和に代わり村政では小林村長誕生。議会は2人の新人が加わる体制であった。スタート早々から条例未公布事件の後始末から始まり、国民健康保険財政調整基金積立の未処理や非常勤特別職報酬未払いなど、残念ながら行政内部の課題が露呈した。その後村は内部監査を実施するなど再発防止と村民への信頼回復、職員意識改革を図っている。

さて令和元年度の主な事業は第6次総合計画策定。これを支える個別の計画策定(地域福祉計画・環境基本計画・公共施設個別計画・子ども子育て支援事業計画)。いずれも今後10年間の村づくりに必要な計画で、体制づくりをした二年であったと考える。これからは具体的にどう実行して目指す村の姿に近づけるかである。

今議会には監査委員の決算審査報告書も提出されており「審査意見」を尊重した村の対応を願うものである。財政の健全化を示す指標はいずれも改善されており評価できるが、主な起因は、一般会計から下水道事業会計への繰出金が大きく減少したことによる。下水道事業会計は一般会計からの繰入の代わりに、「資本費平準化債」(1.3億円)を活用し世代間負担の公平を図る新たな取組を行った。独立採算が求められる会計のため、今後、使用料の見直しなどは関係の審議会に諮られることになっている。

決算審査は翌年度の予算に反映する為の作業であることから、村と議会は双方の役割を果たす責任が今後益々重要になると考へる。

懸案事項だった観光レクリエーション施設 指定管理者**タジマ**決定で動きだす!!

プライムスキー場 今季営業へ

9月29日(火)に招集された村議会第3回臨時会では、今シーズンで指定管理者が撤退した、あさひプライムスキー場他4施設の指定管理者の選定に向けた関連議案が提出され、議員全員一致で可決。新たな指定管理者が決定した。

村は8月21日から9月7日まで、後継の指定管理者の公募を行った。問い合わせは数社あったが、最終的に申請書を提出したのは大町市の「タジマモーターコーポレーション朝日」1社だった。同社はそれぞれに得意分野がある3社の共同事業体で、村の観光施設等指定管理のため8月31日に設立された。これを受け、村は9月17日に地元区長、地区長、商工会、学識経験者で構成する施設指定管理者選定審査会を開催した。審査会は業者から申請理由、施設の運営や取り組みの説明を受け審査した結果、平均96.75点の高得点で指定管理者に同社を選定した。

村は24日、村議会全員協議会で同社が指定管理者に選定されたことを報告、タジマの申請書、共同事業体協定書、指定管理運営の提案書を説明した。同社は村の自然を生かすスキー

シーズンはもちろん、グリーンシーズンにも力を入れるとし、四季を通して朝日村にしかできない事業を展開するとする。

議員からは「指定期間の4年6カ月は長くはないか」「スキー場の設備の流用はないか」「共同事業体、資金力の問題はないか」「管理責任者の常駐場所はどこになるのか」「村民の雇用を優先して欲しい」「関係地区との話し合いを大事にして欲しい」など、質問や要望が多く出た。臨時会では、村の大型投資をせずに定期的な点検、応急的な補修工事による運営継続の方針と同社が現施設で十分営業の継続ができるとの見解、及び同社の地元とのコミュニケーションを重視する姿勢やグリーンシーズンを含む多彩な事業計画を盛り込んだ「提案書」等を検討し、同社を指定管理者とすることに決めた。



J/A野菜予冷庫集出荷施設改修補助 来年度予算に590万円計上を約束

村は今臨時会提出の一般会計補正予算に、朝日村農業振興事業補助金として朝日村のJ/A松本ハイランド野菜予冷庫集出荷施設の全面改修に係る補助金590万円の*債務負担行為補正を行い、議会は全員一致で可決した。

以前の議会だよりも取り上げたが、J/Aから要望額が590万円に減額された「要望書」が9月24日、村に再度提出された。

これは、5月13日の村議会全員協議会に示された補助金要望額は総事業費の10%約3,700万円であったが、その後の村とJ/Aとの交渉の中で、村としては事業費の10%ではなくJ/Aの自己資金では不足となる額とした旨を伝えたものである。それを受けJ/Aは総工費3億7,430万円のうち自己資金である朝日振興積立金約3億6,839万円を全額取り崩し建設資金に充て、不足する建設資金590万円を今回、村に支援を求めた。村は9月24日の村議会全員協議会に

関連資料を開示した。補助の法的根拠を「村農業振興事業費補助金交付要綱」に規定されている「農業の振興上、村長が必要と認めた事業に対する経費」とし、補助に対する理解を求めた。

また、今臨時会で集出荷施設改修に伴う給水管布設替え工事の事業費230万円の補正も可決した。

J/Aは施設改修補助と同時に、村へ集出荷施設を分断する村道の交通や作業の安全確保のため「集出荷施設の全面改修に伴う村道大原4号線の一部村道解除に関する要望書」を提出しており、村は24日全員協議会で解除を含めた通行の安全対策についてJ/Aと協議すると説明した。

*債務負担行為 予算は単一年度で完結するのが原則であるが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても負担支出をしなければならぬ場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくもの。

生後6か月〜高校生、妊婦に インフルエンザ予防接種に2,000円補助決定!

村は例年、高齢者を対象にインフルエンザ予防接種費用の助成を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、インフルエンザの発症及び重症化の予防を図るため、子どもや妊婦、約

740名を対象とする接種費用の助成を決めた。今臨時会で必要な経費240万円を補正。助成対象となる接種期間は10月26日から令和3年1月30日まで。助成金申請は令和3年3月31日までできる。



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢を質すものです。

ここが聞きたい 9議員 12項目

中村 文映議員

1 コロナ禍の下、働き方改革が進む中での、人口減少対策及び企業誘致対策について

齊藤 勝則議員

1 猟友会の活性化について

上條 昭三議員

- 1 コロナ禍の朝日村の対策について
- 2 農業の6次産業化について
- 3 地球温暖化対策について

北村 直樹議員

1 新型コロナウイルスに関する今後の対策について

上條 俊策議員

1 村民の声から種々お聞きします

高橋 良二議員

1 通学路の安全対策について

清沢 正毅議員

- 1 アグリ・ビジネスセンター設置による「新たな農業の担い手」創出事業の現状と今後の展開について
- 2 木質バイオマス循環自立創生事業の成果と今後の朝日村森林林業経営への取組について

高橋 廣美議員

1 ポストコロナ時代をどう歩むか

林 邦宏議員

1 水源林を松くい虫から守るには

問 旧おひさま保育園の利活用を検討は進んでいるか。

村長 旧おひさま保育園はテレワークには不向きとの結論に至った。WiFi（ワイファイ）無線を使ってインターネットに接続できる環境を導入する計画の、健康センター2階をコワーキングスペース（事務所スペースを共有しながら独立した仕事を行う働き方の場）として、村民に開放できると思っている。

副村長 テレワークは行政だけが施設を整備してもだめで、運営団体が

問 コロナ禍でテレワーク（情報通信技術を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方）など働き方が大きく変わったが、村長はどのような認識を持っているのか。

村長 テレワークに対するニーズ（必要・需要・要求）が大きく進み、ニーズとシーズ（技術・能力・設備・施設）が回転し始めた。新たな観光施設の指定管理者もテレワークも構想しており、シーズの提供も進むと思っている。

答 健康センター2階をコワーキングスペースとして整備する！



中村文映 議員

コロナ禍で「テレワーク」が進んだが、村の対応は…



富士見町の森のオフィス(テレワークタウン)

出てきてくれることが大事。旧おひさま保育園等、住民協働、ステークホルダー（利害関係者）と連携しながら可能性を探っていきたい。

問 移住定住促進のため新たな支援策は。

村長 住居がなければ村に住んでもらえない。村営住宅の建設や、民間住宅の受け入れを進める。新たな制度は必要に応じ整備していく。



齊藤勝則 議員

害獣駆除の報奨制度は

答 報奨金は支給している

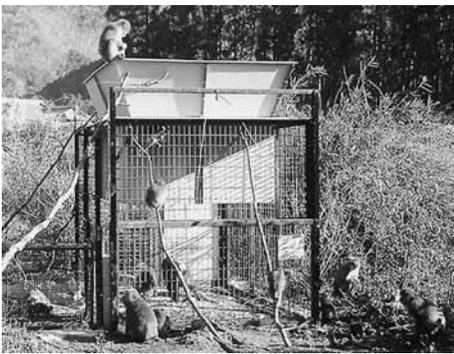
問 昨今の猿、熊の出没に村民は非常に不安を感じている。

村民への安全対策をとる必要がある。塩尻市は害獣駆除に農水省の報奨金に更に市独自のプレミアムを上乗せし、猟友会会員の活性化を図っている。実態は猿一頭につき1万3千円が支給されている。

多数の猿を捕殺し駆除しているとのこと。当村は有害鳥獣防護柵があるが、個体数が増えていると予想される。猟友会員は現在10名、先々このままだと高齢化で会員が減るのではと危惧している。報奨制度の充実を図り、狩猟免許取得時の援助を拡大しなければ、当局の方針は。

産業振興課長

当村は猿を捕獲駆除した場合は、一頭8千円を支給し、猟友会にも村・JAから70万円拋出し、見回り等の出動手当は半日3千円を支払っている。猿の駆除実績は檻に依って、30頭以上の捕獲駆除している、前年比の倍近い捕獲駆除数で推移している。熊についても県の許可のもと対応している。猟友会への支援は塩尻市とは規模的には違うと思うているが、住民の協力を得ながら会員の活性化を図っていきたい。



村内に設置した檻と同じ型の檻



上條昭三 議員

村内でコロナウイルス感染者がでたときは

答 発症を報告して、村民に如何に行動すべきか訴えかけをする

問 新型コロナウイルス感染症の感染者がいつ身近で出ても不思議ではありません。もし朝日村で感染者が出た場合にいかに差別をやめ、人権を守りながら再感染を防ぎ、クラスターの発生を防いでいくか。また村長は自ら村民に対し「私たちの闘う相手はコロナウイルスであって人間ではない、感染者への誹謗中傷や差別をやめ、おもしろいやさしさを持って見守りましょう」と言っていると思いがいかがでしょうか。

村長 ウイルス村内発症時の初動対応マニュアルを整備している。自らが発症を発表し誹謗中傷が無いように、また人権を擁護するように訴えていく。

問 朝日村の第6次総合計画の中に農業経営の多角化、6次産業化に対し支援を行い活力ある農業の振興を図りますとあります。6月の議会で朝日村産レタスを使い化粧品を開発し、特産品にしようという議案が提出され、否決されたから6次産業化の話は全く出てきません。朝日村の

農業の6次産業化を検討するのは、このミッションも含めてアグリチャレンジセンターがよろしいかと思えますがいかがでしょうか。

産業振興課長 農業の6次産業化についてはレタス化粧品も含めて、県の女性農業者セミナー参加の村内女性グループや観光協会、アグリチャレンジセンターでも検討していく。

問 ここ何年かで、気候変動が進んでいるため去年のような台風被害が心配されます。8月下旬に地球温暖化対策のパリ協定に貢献することを表明する「世界首長誓約/日本」に小布施町が署名したとありました。県内では松本市に次いで3例目、全国では25市町村が署名しています。朝日村も地球温暖化対策の対応を表明しませんか。

建設環境課長 村では長野県の「気候非常事態宣言、2050にはゼロカーボンの決意」に賛同している。





北村直樹 議員

新型コロナウイルスに関する 今後の対策は

答 コロナにより収入減の働き手に行政と各関係団体が連携し
村内の求人情報発信を検討

問 未だにコロナの終息が見えない中、長野県内をはじめ感染者が拡大している。いつ、村内でコロナ感染者が発生してもおかしくない状況であると同時に経済活動は疲弊しGDPは戦後最悪まで落ち込みを見せている。結果、企業で働くサラリーマンやパート・アルバイト等が打撃を受け生活に困窮している若手村民もいる。また、近々の状況では各地でコロナ感染者への誹謗中傷も見受けられる。以上から次の質問を致します。

① コロナ禍により収入減となった働き手への支援策を講じる必要があるのでは？
② 村内でコロナ感染者が発生した場合、心のケアはどのように行うか？
③ 誹謗中傷を防ぐため、当村としてはコロナ感染者をどのように守っていくのか？

各課長 ① 国より示されている支援策がいくつかある。働き手には緊急小口資金や国民健康保険料減免や納税猶予等が挙げられる。また、村でも独自の施策を行っている。問い合わせ

わせは社会福祉協議会が窓口である。②感染者が発生した場合、守秘義務を守り、身近な保健師が対応。加えて県の精神保健福祉センターへの対応も行う。③人権保護の観点よりコロナ感染者への差別はあってはならない。広報で差別しないよう告知すると共に国・県が行っている人権対策を中心とした相談窓口及びマニュアルを作成する。

感染症対策 新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含むエチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方
②エチケット 3つのエチケット
③正しいマスクの着用

厚生労働省 健康増進局 健康づくり課

コロナ感染予防（厚生労働省HP）



上條俊策 議員

村民の声から

答 実行・検討していく

問 通学路の支障木対策で以前から要望してきた学校坂ですが、本来は所有者の管理下という事ですが、交通の多い道路であり、当面枝打ちだけでも村でやって頂きたい。

村長 当面道路の安全管理ということから、村で枝打ち整備をしていく。防災放送等 外の放送が何を言っているか音量ばかり大きくなってわからない。訓練の際、事前告知放送等、村民が慌てないで済む方法の検討をお願いしたい。

塩原総務課長 事前告知は今までも行ってきたが2日前から放送する等検討し、聞きやすい放送音量等も改善していきたい。

問 役場庁舎とファミリーマートとの間にツバメが来て、下は糞で大変です。ツバメは縁起が良い、可愛がるという気持ち、思いやりは十分理解できますが、公共の建物で、大勢の方々が集まる場所であり、衛生面からも頭の上からいつ糞をされるか、そんなことを心配しなくて良い対策は必要と考えますが、どうで



通学路（学校坂）

でしょうか。
塩原総務課長 村でも気になっていて、早速予算計上の上、対策していく所存です。



高橋良二 議員

通学路の安全対策は

問 今後検討して方針を出す

昨年一般質問で、通学路の整備を要望しましたが、その後どうなっているのか。

答 主にハーモニーロードの歩道について亀裂の箇所を5〜6箇所補修してありますが、数十箇所が手つかずのままです。工事予定は。

また、保育園南側の道路が相当いたんでいます。お聞きすると優先順位があるとの回答でしたが、改修予定はいつの予定か。

予算との関係で道路補修が遅れているとしたら、村民の毎日の生活で安全に歩ける道路は、何にもまして必要なことと思います。道路補修の予算が年間1千万円程度では、到底安全な道路整備はおぼつかないとおもいます。また、村内各地に改修箇所が沢山あります。

来年度は、道路補修の見直しを図り、実態にあった予算を計上し、安心して歩ける安全な道路改修を目指して欲しいかがか。

建設環境課長 ハーモニーロード改修は今年度中に終了予定です。



補修が待たれる通学路

また、保育園南側の道路は村内道路の基幹道路改修後の順位となっております。2〜3年後位になりそうです。できるだけ早く工事する方向で検討します。



清沢正毅 議員

地方創生事業「アグリ」の推進体制は万全か

問 援農・小規模流通・新規就農に絞り、具体的に幾つか活動を展開、今後も村の機能としてアグリチャレンジセンターを継続

答 アグリ事業については当初目的から中途で方針が変わってきているが、新たな3事業構想の具体的な取り組み内容と進捗状況はどうか？活動期間が後1年半しかないが目標達成の見込みは？また活動終了後のアグリ事業の推進体制の考えはあるのか？

産業振興課長 援農のマッチングシステムは整備できたが登録農家とサポーターとのマッチングが課題。小規模流通は野菜バスの活用が一番。新規就農はアグリチャレンジセンターが窓口でコーディネートしているが、宿泊施設が確保できないことなど、いくつかの課題を今後クリアしていく。今後の推進体制は独自法人ではなく村の農業振興事業として今後も行政の責任で取り組んでいく。

中絶した木質バイオマス事業の成果と今後への活かし方は

産業振興課長 朝日の木材品質の状況把握・JISシステム構築とゾーニングを行い森林の実態把握ができ

た。今後の森林管理・森林経営に活かしていく。

問 木質事業は5400万円もの費用を費やし活動期間1年を残して事業検討をあきらめたが、決して全く成果がなかった訳ではない。行政として把握している成果は何か？その成果を今後の村の森林管理・森林経営にどう活かしていくのか？

産業振興課長 村内製材所設置は難しい為木工家具製作供給を主とした短期プロジェクト、住宅建材供給を主とした中期プロジェクトに取組む。また適切な森林管理を目指しJISシステム構築とゾーニングを実施し、村の森林の実態把握が実現でき、村産カラマツは適切な品質ではない為、80年から100年物に育成が必要と確認できた。これらの成果を今後の森林管理・経営管理計画に反映させる。





高橋廣美 議員

ポストコロナ時代をどう歩むか

答 「田園回帰」の動きに対し、村営住宅等住環境を整える

問 コロナ以前から、大都市から田舎へという「田園回帰」の動きがあり、最近では若者の移住希望者が多いと聞く。コロナ後はその動きが顕著に現れている。今後世界の食糧事情を考えると、複数の国で自国民優先の為に、農産物輸出規制が行われる可能性がある。わが国においても自給率向上への国民的意識が高まることが考えられ、従来以上に農村移住、農業への新規参入者が増える可能性大です。このような状況の中で、当村としては計画的に受け入れ態勢をとつていく必要が有る。特に、雇用の場、住環境の整備が必要と考える。

村長 村に就農希望者から相談があつても、村内には農業者が直ぐに住むことができる住宅がない為、他の自治体に人材が流れてしまう。今後はまず就農者用の一戸建て住宅を新築し、そのうえで新規就農者を大々的に募集して、農業の担い手を育成していく考えです。



キャベツの収穫が進む



刈り取りが終わった田圃



林 邦宏 議員

水源林を松くい虫から守るには

答 水源林内での松くい虫被害木は確認されていない

問 連日30度を超える猛暑が続き、マツノザイセンチュウの運び屋マツノマダラカミキリの活動が活発になり、より標高の高い赤松林に食域を拡大していくのではと、大変気掛かりです。簡易水道の水源は、針尾大尾沢の湧水・舟ヶ沢の表流水・西洗馬外山沢の伏流水が水源となっており、どの山林域でも赤松の山林が水源の涵養機能を担っており、松くい虫被害木にさせてはならない守るべき赤松林です。村民に安全で美味しい飲料水を安定して給水するためには松くい虫対策には、万全を期して早期発見・早期適切処置が必須です。土壌汚染や水質汚濁につながるような処置は厳禁。ドローンを導入し、森林監視精度の向上を図り松くい虫被害を未然に防ぐ体制を早期に構築しなければなりません。

① 水源領域内の山林で松くい虫被害木発生はあるのか。② 水源林内の松くい虫予防策はどの様にされるのか。③ 水源林領域内で松くい虫被害が発生した時の対応は。④ 水源林領域内

での松くい虫被害対応のマニュアル化は。

産業振興課長 被害木は大尾沢手前で3本、外山沢・舟ヶ沢では確認されていない。予防策は薬剤空中散布せず、伐倒燻蒸で対応する。河川敷領域内では実施しない。監視体制は5名の森林管理委員と専門委員1名で対応している。薬剤は農水省・県の規定に合格した薬剤で処置している。**建設環境課長** 水源林内で大規模な伐倒燻蒸処理しても、水道水には影響が出ていない。マニュアル化は関係部署と専門家と連絡を密にし対応する。



松くい進行中の山林

議員 活動報告

現地を目で見て 聞いて参加して

議員活動日誌のとおり議員は、沢山の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主だった活動についてご報告させていただきます。

松本地域正副議長懇話会報告

8月4日塩尻市北部交流センター（えんてらす）で毎年恒例の松本地域正副議長懇話会（42回目）が開かれた。参加したのは、松本、安曇野、塩尻の3市と東筑摩郡5村の正副議長。当番の塩尻市は新型コロナウイルス感染症第2波発生期で開催を危惧したが、対策を施して実施した。懇話会は「えんてらす」の視察と講演会だった。「えんてらす」は昨年7月開館。現在まで20万人が利用。

施設は広丘支所と公民館、図書館、子育て支援センターなど多機能性を持った複合施設で、広丘駅に近い立地で、朝日村の学生や一般村民

も多く活用していると説明があった。ありがたい施設である。この日も夏休み中の学生たちが黙々と「交流スペース」を使って学習していた。

講演は塩尻市危機管理課の防災専門官矢花光博氏の「災害に備える」内容であった。矢花専門官は陸上自衛隊に36年勤務。日本各地の災害現場で指揮した経験に基づいた話だった。特に興味深かったのは、塩尻市が昨年4月から防災専門官を市の危機管理対応として採用した事である。国は、今後確実に起こりうる豪雨災害や土砂災害、大規模地震などに対応するために市町村が防災の専門性を有する

外部人材を採用できるよう財政支援している。「地域防災マネージャー」の資格者であれば人件費の半分を見てくれる制度である。こうした専門人材を自治体が採用することは、いざという時大きな安心に繋がると感じた。朝日村は少ない職員体制の中、特に危機管理において専門的な知識や経験ある人材確保は必至で、今後検討する余地は大いにありと感じた。学ぶことの多い懇話会だった。（塩原智恵美）



東筑摩郡村議会議員交流会

9月25日、筑北村に於いて東筑摩郡村議会議員交流会があいにくの雨の中開催されました。この交流会は東筑摩郡村議会議員が一堂に集まり、研修等を通じて関係諸情報を交換し、議会の活性化と議会運営の充実に寄与する目的で年1回開催しています。

今回の研修は、筑北村で平成24年から取り組んでいる観郷ウォークを体験しました。筑北村観郷ウォークとは農村環境を生かした体験型ウォークラリーのプログラムで、村

内を歩き、途中何か所かのチェックポイントで問題に答えます。地元の人にしか分からない問題もあり、地元の人にあいさつをして答を教えてくださいました。筑北村観郷ウォークの体験者は学習旅行の生徒を中心に延べ千人以上になります。

今回は、東筑摩郡の5村から各1名が参加してグループを作り各村との交流しながら、5人のグループ10チームが観郷ウォークの回答体験をしました。（上條昭三）



ウォーキング前のストレッチ



交流会開会式

第71回東筑摩郡議会議員大会報告

8月27日山形村ミラ・フー
ド館で議員大会が開かれ、こ
れまでの5村の全議員参加で
なく、コロナ禍の感染防止策
のため、正副議長・常任委員
長等各村議会議員の代表者に
よる大会となりました。

来賓は清沢県議会議員・草
間松本地域振興局長・坂田松
本建設事務所長・本庄山形村
長の4氏が出席されました。
議長は筑北村議長の待井
議長が選任され、塩原議長の
大会宣言で開幕となりました。
大会の次第は次のとおり

です。

(1)前年度大会決議事項の処理
状況報告

◆全議長が国会議員・県へ要
望及び県議会へ陳情
(2)各議会提出議題審議

筑北村議会

一、国道・県道の整備促進に
ついて

朝日村議会

一、県道新田松本バイパス古
見区間の早期着工について

生坂村議会

一、犀川の堤防改修と河川内
整備及び管理区間の二元

管理について

麻績村議会

一、交通安全対策（国道
403号本町く明治町間・
主要地方道丸子信州新線
本町地区内）の歩道設置
について

山形村議会

一、主要地方道塩尻鍋割穂高
線上竹田地区の歩道新設
早期完了について

(3)決議

5村の議会から提案され
た議題は審議の結果、全て決
議されました。

(4)決議事項の実行運動方法
◆決議された事項は議長会に

付託されました。11月6日
県へ要望・県議会へ陳情
今回の東筑摩郡議員大会
はコロナ禍3密回避の対応で、



提出議題を説明する林議員

大会出席議員は全議員の4割
に止まる結果となってしまう
寂しい大会となってしまいま
した。
(林 邦宏)



宣言文を朗読する塩原議長

議会活動日誌

7月

- 1 水 第1回朝日村行政区画審議会
- 2 木 議会全員協議会
- 6 月 松塩地区広域施設組合議会運営委員会
- 7 火 松本広域連合第1回臨時会・議員協議会
- 8 水 議会全員協議会
- 9 木 鉢盛中学校組合議会臨時会
- 10 金 村議会第2回臨時会
第1回朝日村男女共同参画審議会
- 17 金 朝日村風食防止対策協議会
朝日村松くい虫防除対策協議会
- 20 月 松塩地区広域施設組合第1回臨時会
- 22 水 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側
ルート建設促進協議会
- 31 金 議会だより第37号発行日

8月

- 4 火 **松本地域正副議長懇話会 10P**
- 5 水 議会全員協議会・議会運営委員会
- 6 木 第2回朝日村男女共同参画審議会
- 7 金 東筑摩郡村議会議長会臨時総会
- 12 水 松塩地区広域施設組合環境保全協議会
- 15 土 朝日村成人式
- 19 水 議会全員協議会
- 26 水 議会運営委員会
- 27 木 **東筑摩郡村議会議員大会 11P**

9月

- 3 木 議会定例会本会議・議会全員協議会
- 4 金 議会定例会・全員協議会
- 10 木 議会定例会本会議一般質問
- 11 金 議会定例会本会議・議会全員協議会
- 24 木 議会全員協議会
朝日村戦没者慰霊祭
- 25 金 **東筑摩郡村議会議員交流会 10P**
(仮称) 松本糸魚川連絡道路建設推進議員連
盟長野県連絡会設立総会
- 28 月 長野県町村議会議長会政務調査部会
- 29 火 村議会第3回臨時会
村道西洗馬7号線整備に関する地権者説明会

せんぜ畑で落花生収穫



精一杯引っ張って、「やったー!落花生が取れたよ ママから
美味しい落花生塩茹で作ってもらうんだ!!」と家路へ(林邦宏)

村民の声



地域に寄り添い
信頼される消防団を
めざして！

朝日村消防団長拜命にあたって

朝日村消防団
団長 高橋宗治さん

今年度、朝日村消防団団長を拝命しました高橋宗治です。消防団員160余名の団員の命を預かる者としてひしひしと重責を感じているところであります。

昨年度、消防団及び消防団員の処遇を村から改善していただきました。これまで以上に、団員の結束を図り、村民の生命、財産を守るため、地域に寄り添って警戒訓練を行って信頼される消防団として尽力していきたいと思っております。



昨年度総合訓練 放水

しかし、現在コロナ禍で訓練等の中止を余儀なくされています。そのため各分団で少人数での訓練で補っているところです。

本年度は2件の火災が発生しております。今後は、地球温暖化により高温乾燥の日が多くなると思われます。ちょっとした油断で火災になりうる可能性ががありますので、村民の皆様には充分気を付けてもらいたいと思っております。



昨年度ラッパ班 総合訓練

我がむら再発見！ ちよこつと訪問

村内の施設やイベントに
議員が訪問して、
その取り組みや要望を聞く
地域密着のコーナー

第6弾「お食事処 もりのこびと」



おいしいお弁当はいかがですか？

村健康センター内にある「お食事処 もりのこびと」をお訪ねしました。「お食事処 もりのこびと」は障がい者就労支援事業を行っている「NPO法人レスパイトケア」はちもりの施設外就労事業のひとつとして運営されています。

コロナ禍で各種団体の集会や宴会等が無くなり、大変厳しい状況であるとのことですが、以前から力を入れてきた日替わり弁当が順調で、なんとか当初の目標を達成することができています。と、食事処責任者の田村悠衣(旧姓村松)さんは、明るく答えてくれました。

日替わり弁当は1食税込500円「村内の野菜や豆腐を出来るだけ使用しています。家庭ではあまり作らないキーマカレーやタイ料理などメニューに加え、村民の期待に応えられるよう頑張っています。」当日の9時までに注文して頂ければOK。店までのお渡し他、村内ならば元気に働くメンバーさんが、1個でも11時から12時の間にお届けしています。こんなお客様思いの姿勢が、人気の理由かと納得。コロナに負けず、元気に働く姿に感動した取材となりました。(高橋廣美)

お食事処 もりのこびと
TEL 99-4055(fax同じ)



メンバーさん集合



人気の日替わり弁当

編集後記

秋も深まり稲刈り、秋野菜の収穫、出荷と農家の忙しい風景が見られます。今年はコロナの影響で世の中一変してしまいました。都会の密を避け、田舎への憧れがあると聞きます。私たちが今一度いなかいコル朝日村の風光明媚な地域を見つめ直すいい機会ではないでしょうか。(高橋廣美)

発行責任者

議長 塩原智恵美

編集委員

委員長 中村文映

副委員長 高橋廣美

委員 林 邦宏

清沢正毅

北村直樹



▲こちらから
朝日村議会の
ホームページを
ご覧いただけます

※お詫び

議会だより7月31日発行号の連載番号が正しくは第37号のところ第38号と誤記載してしまいました。慎んで、お詫び申し上げます。